

第 499 回 難研セミナー

第 72 回 難治疾患共同研究拠点セミナー

下記により難研セミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日 時： 平成 25 年 6 月 25 日 (火) 17:00 ~ 19:00

場 所： M&D タワー21 階 大学院講義室 1

演 者： 和氣 健二郎 先生

(本学名誉教授、(株)ミノファージェン製薬 肝臓リサーチ・ユニット)

演 題： 肝臓の星細胞-歴史、形態、機能

要 旨： 肝星細胞は Kupffer (1876)によって発見された類洞周囲細胞で、ビタミン A を貯蔵し、活性化するとビタミン A を放出しコラーゲンを盛んに産生し、線維化に重要な役割を演じる。星細胞は 20 世紀の初頭以来数十年に亘って食細胞と混同されてきたが、1971 年に再発見された。星細胞は内蔵器官に広く分布し、内蔵線維化の原因細胞である。最近星細胞が第 4 のグロビン、「サイトグロビン」をもつことがわかり、その意義が解明されつつある。

連絡先：病態細胞生物学分野 清水 重臣 (内線 4692)

共催：発生再生生物学分野 仁科 博史